

静岡市清水区感染症発生動向

2016年 26週

集計期間 6/27-7/3

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱			2											2
溶連菌感染症									1		1	1		3
感染性胃腸炎		2	4	6	3	8	7	3	9	2	6	9	1	60
水痘								1	2					3
手足口病														
伝染性紅斑														
突発性発疹			2	1										3
百日咳														
ヘルパンギーナ			4	3	5	2	1	1		2				18
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ				1	1									2
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
				小児科定点総数 91				増減 -17	前週比	84.3%	定点当たり 15.2			
								病院:開業医 6:85				増減 +1:-18		
内科Flu														
				インフルエンザ総数				増減 0	前週比	?	% 定点当たり			
								小児科:内科 0:0				増減 0:0		

総数91、前週の84.3%と減少です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比83%、定点当たり10と減少です。

2位は、ヘルパンギーナ、前週比225%、定点当たり3と倍増です。

以下は、定点当たり1未満ですが、

溶連菌感染症、水痘、突発性発疹が3名ずつ、

咽頭結膜熱、マイコプラズマが2名ずつ報告です。

7/2小児科土曜午後当番、来院者24名、胃腸炎3名、ヘルパンギーナ3名、溶連菌2名、

7/3小児科休日当番は来院者73名、胃腸炎3名、ヘルパンギーナ2名、

とご報告をいただいています。

胃腸炎と、ヘルパンギーナが流行中、

溶連菌と、咽頭結膜熱がパラパラ、マイコプラズマに要注意という状況です。